

# わくわくニュース

〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花島ビル1F  
URL: <http://www.cil-funabashi.org/>

TEL: 047-432-4554 / FAX: 047-432-4565  
E-Mail: [cil-funabashi@cil-funabashi.org](mailto:cil-funabashi@cil-funabashi.org)

## ピアカウンセリング集中講座のお知らせ

自立生活センターは「どんなに重い障害をもっていても地域で生きていける環境づくり」を目指して活動している団体です。

そしてこの度、自立生活のサポートの手段の一つである、ピアカウンセリングを伝えるために集中講座を後記の要綱で開催することになりました。「ピアカウンセリングってなんだろう？」と興味がある人、自立生活をしてみたいと思っている人、私たちと一緒に講座を楽しみましょう。



### ここで言うピアカウンセリングとは

ピアとは「仲間」を意味し、ここでは障害者を指します。障害をもっている人同士、お互いにつながり、サポートしながらやっていき、自分にとって何が必要なのかを見つけていき、仲間同士が持つ安心感の中で行っていくサポートの手法です。

カウンセリングといっても誰かが誰かを指導していくのではなく、お互いにどうしたいのかを考えていくものです。その人のもっている本来の力を取り戻し、「あなたがどうしたいか」をお互い考えながらやっていくものです。

参加資格は、障害(種類や程度は問いません)を持っていて、ピアカウンセリングに興味がある方、地域で自立して生活してみたいと思っている方ならどなたでも参加していただけます。

# ピアカウンセリング集中講座の詳細

日程： 9月13日（水）午後1時30分～午後9時

9月14日（木）午前9時～午後9時

9月15日（金）午前9時～正午

場所： 13日： 船橋市女性センター

14日： 船橋市女性センター

15日： 船橋市中央公民館

定員： 10名（先着順）

受講料と参加諸経費：

受講料は障害者生活支援事業の一環として行われるので無料。また、講座開催中の食費や宿泊費などは自己負担。

宿泊先：

この講座は、1日目と2日目は夜の9時まで行う予定です。そのため、遠方の方には宿泊先としてサンランドホテルを予定しています。

宿泊料金：

1泊シングル6,300円 ツイン10,500円

< 宿泊希望の方は別紙の参加申込書の宿泊希望の欄に○をして下さい。 >

参加希望の方は、参加申込書に必要事項をご記入の上、下記までお送りください。  
締めきりは9月8日です。

< 申し込み・お問合せ先 >

特定非営利活動法人 船橋障害者自立生活センター

〒273-0005 船橋市本町2-4-4 花島ビル1F

TEL：047-432-4554 / FAX：047-432-4565

Eメール：cil-funabashi@cil-funabashi.org

## タイムスケジュール

1日目(9月13日)女性センター

13:00～13:30 受付

13:30～14:30 オリエンテーション

14:30～16:00 ピアカウンセリングとは  
～ 聞くということ

16:00～18:45 人間の本质

18:45～20:00 感情の解放

2日目(9月14日)女性センター

9:30～10:00 NEW & GOODS

10:00～12:00 障害について(休憩含む)

12:00～13:30 食事休憩

13:30～14:45 質疑応答

14:45～16:30 サポートグループ

16:30～18:00 アプリシエーション

18:00～20:30 交流会

20:30～21:00 あとかたづけなど

3日目(9月15日)中央公民館

9:30～10:00 NEW & GOODS

10:00～11:30 自立生活プログラム

11:30～12:00 感想

# 来たぞ! 来るぞ! 自立支援法

## 障害者自立支援法の講演とシンポジウムのご案内

本年4月にスタートした障害者自立支援法は早くも5桁で表される自己負担の増大という形で、私たち障害者の生活を直撃しています。また障害区分認定の一次判定が始まり、二次判定の審査にあたる審査会も作られました。当市では当初およそ2000人の対象者がいるとされていましたが、その後2分の1の1000人以下ということになり、主として7月8月に審査会審査が行われます。

総合相談窓口の新設に関する動きも急速です。3障害統合による精神障害者の問題、サービス支給量とケアプランづくりの現実、ヘルパー派遣の事業所をめぐる現状と施設再編、地域支援事業のもつ矛盾や不透明という状況の中で進められています。

これらは全国の問題であり、船橋の今日の現実です。すべては障害者の生活そのものに関することであり、人権・福祉の根幹にかかわることです。

このような認識の下、いま私たちの上に何が起こっているのか、障害当事者、行政、そのほか関係する者が集まり、この時点の地域における自立支援法の現実を検証することで、本格実施への備えとしたいと思います。

ご賛同とご協力をお願い申しあげ、ご参加をお待ちしています。

日時 : 2006年9月9日(土)13:00 ~ 17:00 (開場 12:30 / 開会 13:00)  
会場 : 船橋市女性センター研修室(Tel : 047-423-0757)  
主催 : NPO 法人船橋障害者自立生活センター  
規模 : 70名  
参加費 : 500円(資料代)

### プログラム

講演(敬称略)

寺田一郎(ワーナーホーム理事長) 13:10 ~ 14:40

シンポジウム 15:00 ~ 17:00

シンポジスト(順不同)

1. 佐藤幸胤(船橋市障害福祉課)
2. 宮尾修(船橋障害者自立生活センター)
3. 牧野弘子(福祉ショップひびき)
4. 宮代隆治(ゆたか福祉苑)
5. 寺田一郎(ワーナーホーム)

指定発言者

山本明さん、他の予定

司会・コーディネーター 杉井和男(船橋障害者自立生活センター)

連絡・問い合わせ先

船橋障害者自立生活センター市町村障害者生活支援事業相談室

TEL: 047-495-6777 / FAX: 047-495-6776

7月13日（木）

## 「虹の会」のメンバー来訪

埼玉県浦和市の障害者団体「虹の会」の加納さん、関根さん以下5人が来訪しました。

お互いの活動の状況やこれからの運動課題について意見を交換し、有意義なひと時を過ごしました。

最初から最後までデジタルビデオカメラで撮られっぱなしだったので、これじゃあいかんと思い、こちらもついに逆取材という反撃手段に打って出たのです。21日に送られてきた「虹の会」の機関紙には早くも当日の様子が掲載されていて、その速報体制には脱帽しました。これからも交流を深めていきたいと思いますので、また、遊びに来てくださいね。



7月13日（木）

## 「差別禁止条例」の勉強会が開催されました

現在、千葉県政の中心的課題になっていて、その動向が全国的にも注目されている「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例案」についての緊急学習会が中央公民館で行われました。この条例は2月議会に上程されて継続審査となり、6月議会でも成立までにいたらず、9月議会に一部修正の上、改めて提出されることになった日く付きの条例です。

講師は、NPO法人「ちばMDエコネット」代表の山田晴子さん。当日は折から事務所を訪れていた「虹の会」のメンバーも飛び入りで参加してくださって、熱心に耳を傾けていました。

講師の話の中ではこの条例が成立できないでいる状況を受けてその背景を説明してくださり、障害を持つ当事者が成立に向けて運動に参加することの重要性が強調されました。自立生活センターとしても9月議会に向けて、どうかかわり方をしていくのか新たな課題を突きつけられる形となりました。



7月13・14日（木・金）

## 「第19回市町村障害者生活支援事業職員研修会」 in 札幌

7月13～14日、北海道札幌市で行われた「第19回市町村障害者生活支援事業職員研修会」に田沼が参加しました。

は～るばる来たぜ札幌へー、というわけで。

1日目はまず「自立支援法におけるケアマネジメントの位置づけおよび相談支援事業について」と題してヒューマンケア協会代表の中西さんからパワーポイントを使いながらの説明がありました。

次に「障害程度区分認定調査について」という

テーマで、自立生活センターメインストリーム協会事務局長の佐藤聡さんが話されました。この中では認定調査の不備な点や矛盾点なども指摘されました。



午前の最後の講義としてHANDS世田谷代表の横山晃久さんが「当事者主体のケアマネジメントの概論」というテーマで講義をされました。横山さんは、障害当事者の意向を尊重したケアマネジメントの大切さを具体例を挙げながらお話しされました。



昼食休憩を挟んで午後の前半は「障害者の生活

ニーズ」と題したシンポジウムが行われました。コーディネーターには近藤秀夫氏、シンポジストには沢口京子氏、佐々木信行氏、荻野仁氏、松坂優氏の各



氏が担当されました。それぞれ異なった障害の立場からのお話は当事者でなければわからない内容で、大変興味深いものでした。

午後の後半は、町田ヒューマンネットワーク副理事長の堤愛子氏が

「ニーズをケアマネジメントにどう結びつけるか～つくり出す資源の発想～」というテーマでお話をされました。



ここではフォーマル資源とインフォーマル資源をうまく組み合わせて新たな資源を作り出していくことの大切さが強調されました。

こうして1日が終わったわけですが、講義が中心でいささか疲れました。

夜は、すすきのまで足を伸ばして、狸小路の本物の炉端焼き屋さんで北海道の味覚を満喫し、締めにラーメン横町で札幌ラーメンを食べて満腹になって、もうバタンキューでした。

☆

2日目は、6グループに分かれて、それぞれケアマネージャー、母親、息子の役を割り当てて、相談面接の演習が行われました。役を変えて、前半、後半と2回行われましたが、限られた時間の中でのロールプレイングで難しい面もあったとはいえ、個性が表れていてなかなかおもしろかったです。

最後に各グループのまとめと発表が行われ、第1グループでは田沼が発表の役を担当しました。

2日目は残念ながら午前中だけしか参加できなかったのですが、総じてとても有意義な2日間でした。

こうしてきっちり仕事をこなしてから、札幌をあとにしたのでした。



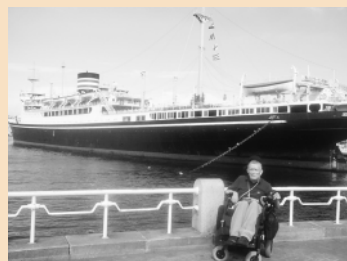
8月5日（土）

## ピアカウンセリング公開セミナーが行われました

センター主催のピアカウンセリング公開セミナーが、中央公民館で開かれました。

リーダーは遠く山梨県から駆けつけてくださった今井志朗さん。参加者は13名で、はじめに一言ずつ自己紹介をした後、「ピアカウンセリングとは」、「自立生活センターとは」などの説明がありました。ピアカン初参加という人が多かったこともあって、皆さん熱心に聴いていました。

後半は、二つのグループに分かれてサポートグループを行い、「からだ」や「趣味」の話で大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。



8月21日（月）

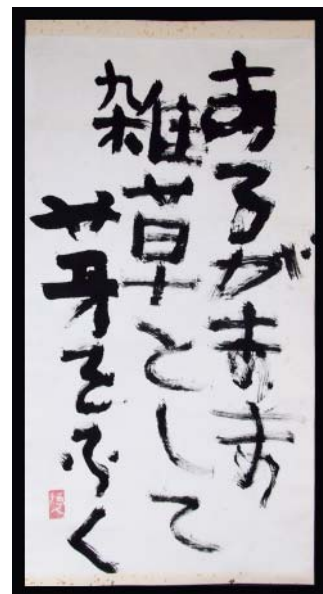
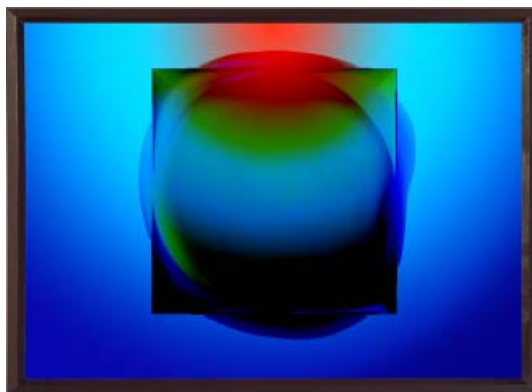
## 横浜中華街に行ってきました

7月10日から毎週月曜日に行われている自立生活プログラムのフィールドトリップとして横浜中華街に行ってきました。

当日は車椅子3人に介助者3人という一行で、11時に船橋駅から電車に乗りました。車椅子3台での移動は大変で、とくに横浜駅でのエレベーターで手間取り、みなとみらい線元町・中華街駅に着いたのは1時過ぎでした。

さっそく「横浜大世界」で腹ごしらえをしたあと、自由行動に移りました。山下公園や中華街を散歩したグループもあれば、マリンタワーからランドマークタワーまで散歩したグループもあって、自由に行きたいところに行きました。

当日はよく晴れて日差しが強く、蒸し暑かったのですが、みんなそれぞれ横浜を楽しんでいたようです。



## 船橋障害者自立生活センター 設立15周年記念

# CGと書道展

1991年にセンターが設立されてから今年で15年目になります。そこで設立15周年記念イベントの一つとして、「CGと書道展」を開催します。

出展はグラフィッカーである田沼敏夫さんのCG作品と、足による書道の川嶋徳人さんの書です。

多くの方々のご来場をお待ちしています。

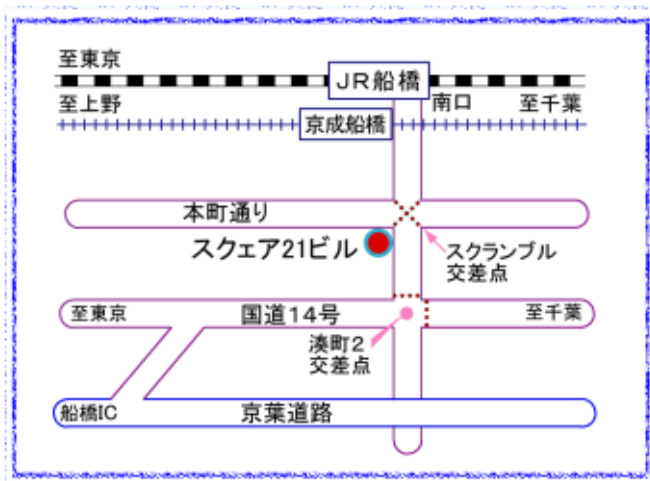
会期：10月10日（火）～15日（日）

時間：10時～5時（10日：12時から／15日：4時まで）

会場：船橋市民ギャラリー（電話：047-420-2111）

住所：〒273-0005

千葉県船橋市本町2-1-1 船橋スクエア21ビル3階



JR船橋駅南口より

徒歩5分

京成船橋駅より

徒歩4分

## カンパのお礼

前号以降、以下の皆様より温かいカンパをいただきました。

厚くお礼申し上げます。

(順不同)

前田満子様 遠藤すず枝様 匿名様

### 船橋市障害者生活支援事業の委託終了

平成9年7月から委託を受けて行っていた市町村障害者生活支援事業が、9月末で終了します。これで市からの委託事業はすべて終了することになります。重度の障害者が自分達の自立生活のノウハウを若い障害者達に伝えていく場として数々の実績を残してきました。委託事業の予算の中で無料で行っていた自立生活プログラムやピア・カウンセリングは今後もセンター独自の事業として継続して行う予定です。しかし無料で開講することは難しいかもしれません。

10月からは障害者自立支援法による3障害を統合した総合相談窓口「ふらっと船橋」が開設されます。これは当センターも含む12団体が設立した船橋福祉相談協議会に委託されました。“障害の有無、種別、軽重を問わず”という自立生活センターの理念に近づいたといえましょう。

新しい相談室はセンター事務所から国道14号線を横断してすぐの所にあります。今の相談室よりずっと近く、広くなりました。電話番号も今の相談室の番号がそのまま使われます。

これからも障害当事者の意向を尊重した相談を行うために積極的にこの事業に関わっていきたいと思います。

#### 同封の振替用紙について

この機関紙には全員の方に郵便振替用紙を同封させていただきました。これは会費、介助料、カンパ（もちろん強制ではありません）などを送っていただく際に、便利なように同封したものです。

なお、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

#### 会費納入のお願い

今年度の会費をまだお支払いいただいていない方、同封の振込用紙をご利用の上お早めにご納入下さいますようお願いいたします。

年会費は、正会員の方が年間3,000円、賛助会員の方が年間5,000円、団体が年間10,000円となっております。

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21

身体障害者定期刊行物協会

頒価 100円